

平成28年度 事業計画

1. 内外の女子体育に関する研究及び研究大会の開催

1) 関連研究プロジェクト

(高橋会長)

○研究タイトル『女子中学生の運動習慣の向上ーダンスプログラムを通してー』

○申請者：細川江利子（埼玉大学）高橋和子（横浜国立大学）笹本重子（日本女子体育大学）

高野牧子（山梨県立大学）飯田路佳（十文字学園女子大学）八木ありさ（日本女子体育大学）笠井里津子（日本体育大学）佐藤廣子（竹早教員保育士養成所・非）

○研究背景：子どもの豊かな運動やコミュニケーションの乏しさによる弊害が叫ばれて久しい。特に、中学校女子では「1週間の運動時間0分が67.9%もいる」との報告がある（文部科学省平成26年度調査報告書）。この現状への対応策として、全国の中学生1万人への調査結果では、中学校女子はダンスを肯定するとともに、褒めて指導すれば運動意欲が喚起されることが明らかになった（高橋和子2015）。子どもの体に起きている異変の早期発見と対処のため、文部科学省は2016年から健康診断項目に「運動器（体を支え動かす役割をする体の器官の総称）に関する検診」を追加した。運動器の機能を改善する方法としてはストレッチやボディアワークなどの有効性が報告されているが、特に女子中学生が好む傾向にあるダンスも有効な手立てとなるのではないだろうか。そこで、本研究では女子中学生を対象とし、楽しく体を動かすことを習慣化して運動器の機能不全に対処できるようなダンスプログラムを開発し、その有効性を実証することを目的とする。

○研究計画：【1年目】ダンスプログラムの開発と映像の作成。予備実験。

（【2年目】女子中学生への介入実験。「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」「運動器検診」等を実施）

2) 加盟団体との共同研究

(高橋会長)

本部と加盟団体との共同研究を実施する。

(継続) 愛知県女子体育連盟

(新規) メール申請受付、締切は4月30日必着。

3) 全国女子体育研究大会

第50回全国女子体育研究大会(愛知大会)

□実行委員会

期 日 11月18日(金)・11月19日(土)

会 場 愛知県・各会場、東海市芸術劇場、日本福祉大学東海キャンパス 他

主 催 (公社)日本女子体育連盟、愛知県女子体育連盟

後 援 (予定) スポーツ庁、愛知県、愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会、愛知県体育協会

テーマ 「愛・未来へつなげる知ーいこまい、やろまい、踊ろ舞ー」

内 容 分科会Ⅰ (18日)

分科会Ⅱ・全体会 (19日)

参加者 全国の幼・保・小・中・高校および大学、生涯スポーツ指導者 等

参加費 6,000円

2. 女子体育に関する講習会及び育成事業

1) サマーセミナー

JAPEW SUMMER SEMINAR 2016—平成28年度夏期講座—

□生涯スポーツ研究／授業・保育研究専門委員会

期 日 2016年8月27日(土)・28日(日)

※29日(月)—学校体育コース、生涯スポーツ(クリニック、養成のみ)

会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター(NYC)

テーマ 「アクティブラーニングとしてのダンス—主体・共生・創造—」

内 容 講演、講義、実技、実習等

参加者 全国の幼・保・小・中・高校、特支および大学、生涯スポーツ指導者等

定 員 生涯スポーツコース：220名 学校体育コース(教員免許状更新講習25名含む)：105名

参加費 生涯スポーツコース：2日料金：会員12,960円、一般15,120円、学生7,560円

※会員=正会員・特別会員および購読会員

学校体育コース：1日料金：会員6,480円、一般7,560円、学生3,780円

※学校体育コースは1日ごとの参加が可能

教員免許状更新講習(1日間) 会員・非会員 6,480円(テキスト代含む)

DMI Lクリニック(1日間) 会員5,400円

DMI L養成講習会(3日間) 会員・非会員・学生 16,200円

後 援(予定) スポーツ庁、東京都、(公財)日本体育協会、(公財)スポーツ安全協会、
(公財)ミズノスポーツ振興財団

日 程(予定)

8月27日 (土)	9:30 10:00 10:20 11:50 13:00 14:20 14:35 15:55 16:10 17:30 19:00 20:00									
	生涯スポーツコース	受付	開講式	講演【セ417】	昼食・休憩	実技①【ス1・2体】	実技②【ス1・2体】	実技③【ス1・2体】	休憩	自主練コーナー【ス1・2体】
8月28日 (日)	9:30 10:00 10:20 11:50 13:00 15:00 16:00 17:00									
	学校体育コース(教員免許状更新講習を含む)	受付	開講式	講演/高橋修一教科調査官【セ101】	昼食・休憩	実技/高橋和子【ス3体】	実技/リズム系ダンス外部講師【ス3体】	試験/教員免許更新講習のみ【ス5体】	実技【ス3体】	
8月29日 (月)	9:00 10:20 10:40 11:50 13:00 14:30 14:45 16:05 16:30									
	生涯スポーツコース	受付	講義【セ102】	実習【ス1・2体】	昼食・休憩	実技④【ス1・2体】	実技⑤【ス1・2体】	実技⑥まとめ【ス1・2体】	閉講式【ス1・2体】	
8月29日 (月)	9:00 10:20 10:40 11:50 13:00 15:00 16:00									
	学校体育コース(教員免許状更新講習を含む)	受付	実技長津芳【ス3体】	実技細川江利子【ス3体】	昼食・休憩	実技/八木ありさ【ス3体】	試験【ス5体】	ジョーイング【ス3体】		
8月29日 (月)	9:00 10:20 10:40 11:50 13:00 15:00 16:00									
	学校体育コース(教員免許状更新講習を含む)	DMI L	実技笠井里津子【ス4体】	実技米澤麻佑子【ス4体】	昼食・休憩	実技/小笠原大輔【ス4体】	試験・閉講式【ス5体】	※【 】は各会場を示す ス…スポーツ棟 セ…センター棟 カ…カルチャー棟		
クリニック	※内容は有資格者に別途ご案内【カ・リハ】		【カ・リハ】							
	養成講習		※詳細内容は受付時にご案内【カ・41,42,43】			【カ・41,42,43】				

2) 未来世代の研究発表会

第60回未来世代の研究発表部門&卒業ダンス作品発表部門

□研究交流専門委員会

期 日 平成29年2月11日(土・祝)
会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター(カルチャー棟・小ホール)
内 容 ①卒業論文・修士論文・博士論文の発表
*口頭発表及びポスター発表、発表論文の中から優秀論文を『女子体育』に掲載
②卒業ダンス発表会
参加費 研究およびダンス発表者、参加者 500円

3) ダンスムーブメントセミナー

(笹本副会長)

広域連携推進事業/ダンスムーブメントセミナー2016 in 埼玉

生涯スポーツの振興およびダンスムーブメントの普及、本部と加盟団体とのネットワークづくり等を目的として開催する。

共 催 埼玉県女子体育連盟
期 日 平成29年2月18日(土)・19日(日)
会 場 埼玉県立武道館 主道場
後 援(予定) スポーツ庁

4) 「ダンスムーブメント指導員」養成事業 (略称 DMIL)

□指導員制度専門委員会

①「ダンスムーブメント指導員」養成講習会<A級:第13回, B級:第17回, C級:第20回>

期 日 8月27日(土)・28日(日)・29日(月)
会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター
主 管 (公社)日本女子体育連盟 指導員制度専門委員会
内 容 理論、実技 計21時間
※27日・28日はサマーセミナーAコース受講に代える
受講料(税込) 16,200円

②「ダンスムーブメント指導員」クリニック

期 日 8月29日(月)
会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター
主 管 (公社)日本女子体育連盟 指導員制度専門委員会
内 容 スキルアップのための実技研修
受講料(税込) 5,400円

③「ダンスムーブメント指導員」検定講習会

期 日 9月17日(土)・18日(日)・19日(月・祝)
会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター
主 管 (公社)日本女子体育連盟 指導員制度専門委員会
内 容 理論、実技、指導実習 計19時間 ※検定試験
受講料(税込) A級/27,000円、B級/27,000円、C級/16,200円(受験料/10,800円)

3. 機関誌その他の学術刊行物の発行

1) 『女子体育』編集発行

□『女子体育』編集専門委員会

①刊行 隔月刊・年間6回とし、発刊は発刊月前月の25日発刊予定とする。

構成：通常号4本、特集号2本（ダンス指導解説特集号、AJDF報告特集号）

②方針 平成28年度も引き続き、通常号80頁、増刊号120頁、横書き、写真の掲載等、同様の方針で取り組む。

③購読料 年間購読料5,800円、新卒4,000円、学生3,800円

④年間テーマ

「アクティブ・ラーニングとしてのダンス —主体・共生・創造—」

⑤月テーマ

○4・5月号（通常号）80p （案）主体的に学び合う・育ち合う

年間テーマである、「アクティブ・ラーニング」をわかりやすく解説するとともに、学校教育でのアクティブ・ラーニングとしての表現・ダンス授業実践だけでなく、生涯スポーツでもアクティブ・ラーニングの概念を取り込んだダンス指導実践を紹介していく。

○6・7月号（通常号）80p （案）男性教師から学ぶ

中学校1・2年でのダンス必修化に伴い、ダンス授業は女性教師が行うものという時代は終わった。全国各地で男性教師の素晴らしい表現・ダンス指導が展開されつつある。性別に関わらず、誰もが表現・ダンス指導ができるように、本誌が勇気づけになればと願う。そこで、表紙写真も男性教師の授業写真にし、ベテランの授業から初めて取り組んだ授業まで男性教師の多様な実践を報告していく。

○8・9月号（特集号）120p

特集「アクティブ・ラーニングによる表現・ダンス指導事例集」

ダンス指導において、どのように主体・共生・創造を生み出していくのか、アクティブ・ラーニングの切り口から、具体的なダンス指導事例を紹介する。

誌面構成は、理論編としてアクティブ・ラーニングについて概説した上で、実践編では、昨年度の特集と同様にし、1.2ページでは、活動のねらいや対象などの概要、学校教育であれば、単元計画など。続く3ページからは見開きページの構成とし、左頁に活動の展開を記し、右頁にはその解説を付ける予定である。

<誌面構成>

1活動 6ページ：幼児、小学校（低・中・高学年）、中学校（創作・現代的なリズム、
中学・高校選択2、生涯スポーツ3

○10・11月号（特集号）「第29回全日本高校・大学ダンスフェスティバル（神戸）報告特集号」

○12・1月号（通常号）（案）踊る快感・動く楽しさ

運動嫌いの子どもたちから運動をほとんど行わない高齢者まで、その問題は幅広く存在している。生涯に亘り、皆が健康に生活していくために、競わず、争わず、一人でも、あるいは誰とでもできる表現・ダンスの果たす役割は大きいと考える。そこで、ダンスの本質に切り込み、リズムに乗って弾み踊るダンスの快感、動くことそのものが楽しいと感ずることなど、SSの指導事例の特集と共に、ダンスの本質に触れるような実践を取り上げていく。

○2・3月号（通常号）（案）溢れる想いを表現に

ダンスが体操等の競技と大きく異なるのは、その想いを動きに託し、表現していくことではないか。表現することを中心に据え、1年の締めくくりとして、アクティブ・ラーニングの中で主体的に気持ちに添って体で表すことの大切さを改めて考えていきたい。

2) 『学術研究』発行

□学術研究編集委員会

『(公社)日本女子体育連盟 学術研究』第33巻を刊行する。なお、論文投稿締め切りは8月末日とする。

4. 関係諸団体との連携及び国際的な研究交流の推進

1) 全日本高校・大学ダンスフェスティバル(神戸)

第29回全日本高校・大学ダンスフェスティバル(神戸)

<29th All Japan Dance Festival-Kobe>

□AJDF-KOBE実行委員会

期 日 8月3日(水)・4日(木)・5日(金)・6日(土)

会 場 神戸市／神戸文化ホール・神戸市立中央体育館

主 催 (公社)日本女子体育連盟、神戸市、神戸市教育委員会

主 管 第29回全日本高校・大学ダンスフェスティバル(神戸) 実行委員会

後 援(予定) スポーツ庁、(公財)日本体育協会、NHK(日本放送協会)、
(公財)全国高等学校体育連盟、全国高等学校長協会、兵庫県、
兵庫県教育委員会、(公財)神戸市スポーツ教育協会、
(公財)ミズノスポーツ振興財団、(財)地域活性化センター

協 賛 (株)日本旅行神戸支店、ミズノ株式会社

協 力 (公財)ユーハイム・体育スポーツ振興会

内 容 ①開会式

②創作コンクール部門(高校／予選・決選、大学／予選・決選)

③参加発表部門 *8月4日(夕)・6日(朝昼)に分けて5ブロック上演

④表彰式・特別プログラム(創作コンクール部門高校・大学受賞作品)

*特別プログラムは大ホールにて2回公演(入場料4,000円)

表 彰 文部科学大臣賞、NHK賞、日本女子体育連盟会長賞、神戸市長賞、特別賞、
奨励賞、審査員賞、準入賞(高校の部のみ)

その他 参加申込要項等は大会HPに掲載

大会詳細は『女子体育』10・11月号報告特集号に報告

2) 国際的な研究交流事業

□国際交流専門委員会

①国外の体育・スポーツ・ダンス推進団体との連携、情報交流

○ 国際女子体育連盟

- 日本代表である（公社）日本女子体育連盟会長・高橋和子、NPO法人JWS (Japanese Association for Women in Sport) 代表・小笠原悦子氏、WSFジャパン（女性スポーツ財団）日本支部事務局・高橋昭子氏との連絡調整。
- 日本のIAPESGW会員の把握。
- IAPESGWからの配信情報の国内配信と、連盟の活動のIAPESGW News Letterへの投稿。

○ CID (International Dance Council 国際ダンス協議会)、IWG (International Working Group on Women and Sports) を中心とした、海外における国際的な女性と体育・スポーツ・ダンス関連の情報を紹介。

○ インターナショナル・ダンス・ワークショップ

期 日 4月30日(土)

会 場 日本体育大学

主 催 (公社)日本女子体育連盟

協 力 フィットネスセッション実行委員会

講 師 Bonnie Bainbridge Cohen (アメリカ: School of Body-Mind Centering 創始者)

内 容 ボディマインドセンタリング、ソマティクス(身心学)

参加者 ダンスにたずさわる全ての方

参加費 会員3,240円 一般5,400円 学生2,160円

○ その他、女性と体育・スポーツ・ダンス関連の先進的な研究や実践を紹介するための講座やワークショップの企画・実施。

②(公社)日本女子体育連盟の活動情報の国外への発信

○ホームページのイングリッシュガイドの情報を更新。

③日本国内にある異文化グループや国際交流グループとの連携事業についての検討

○ 学校、地域などでの異文化交流を、体育・スポーツ・ダンスによって推進できる方法を提案できるように、情報収集と研究を行う。

5. 研究の奨励及び研究業績の表彰

1) 「JAPEW 賞」顕彰

□JAPEW 賞選考委員会

①JAPEW 松本千代栄賞

趣旨 長年にわたり我が国における体育・スポーツの普及振興と本連盟の発展に貢献し、生涯にわたる女子体育に関する研究と実践に顕著な功績が認められる女性体育指導者並びに女性研究者に対して、その功績を称え表彰する。本賞は(公社)日本女子体育連盟(以下、本連盟)を長きにわたり牽引された松本千代栄氏の特段な功績を称え、創立60周年を期に制定する。

選考 本連盟会長及び顧問により推薦された候補者について、JAPEW 松本千代栄賞選考委員会において審議し選考する。

②JAPEW功労賞

趣旨 我が国の体育・スポーツの普及・振興にあたり、特に貢献が顕著と認められる女性体育指導者並びに女性研究者に対して、表彰をもってその功労に報いることを目的とする。

選考 本連盟会長及び加盟団体より推薦された候補者について JAPEW 功労賞選考委員会において審議し選考する。

③JAPEW指導者賞

趣旨 体育・スポーツの指導を通して功績をあげ、学校体育及び生涯スポーツの振興・普及に貢献した我が国の女性体育指導者を表彰するとともに、優秀な女性体育指導者の育成を図ることを目的とする。

選考 本連盟会長および加盟団体より推薦された候補者に対して、JAPEW指導者賞選考委員会において審議し選考する。

④JAPEW研究奨励賞

趣旨 体育・スポーツに関する研究において優れた成果をあげた論文及び著書とその女性研究者（個人またはグループ）を表彰するとともに、優秀な女性研究者の育成を図ることを目的とする。

選考 本連盟理事より推薦された候補論文及び著書とその女性研究者について、JAPEW研究奨励賞選考委員会において審議し選考する。

※推薦書の提出 JAPEW各賞候補者の推薦書については、所定の書式に基づき、連盟事務局までメール及び郵送のこと。

2) 表彰および表彰者の公表について

表彰者氏名は、機関誌『女子体育』誌上及びホームページにて公表する。表彰者には、第50回全国女子体育研究大会（愛知大会）の開会式において、表彰状と副賞を授与し、顕彰する。

6. その他

広報・普及活動

□広報・普及委員会

①各加盟団体とのIT化の推進

事務手続き効率化のため、各加盟団体間でIT化を一層推進する。

②『女子体育』購読促進活動・会員増員のための活動

研修事業での新規（新卒学生含む）及び継続会員獲得、並びに購読期限切れ会員への対応を行う。（事務局・総務・編集委員会との連携）

③ホームページ掲載情報の内容充実及び開示情報の更新

- ・各事業と関連し、情報発信の敏速性とHPの充実をはかる。
- ・教員免許更新講習及び未来世代の研究発表会のエントリーをHP上で行う。
- ・事業報告、事業計画、財務諸表（決算書・予算書等）の情報を公開する。
- ・各県情報のHP化／各県教委等、他団体との相互リンクを充実させる。

④『(公社)日本女子体育連盟 学術研究』の電子化

『(公社)日本女子体育連盟 学術研究』第33巻を電子ジャーナルとしてJ-STAGEに公開する。